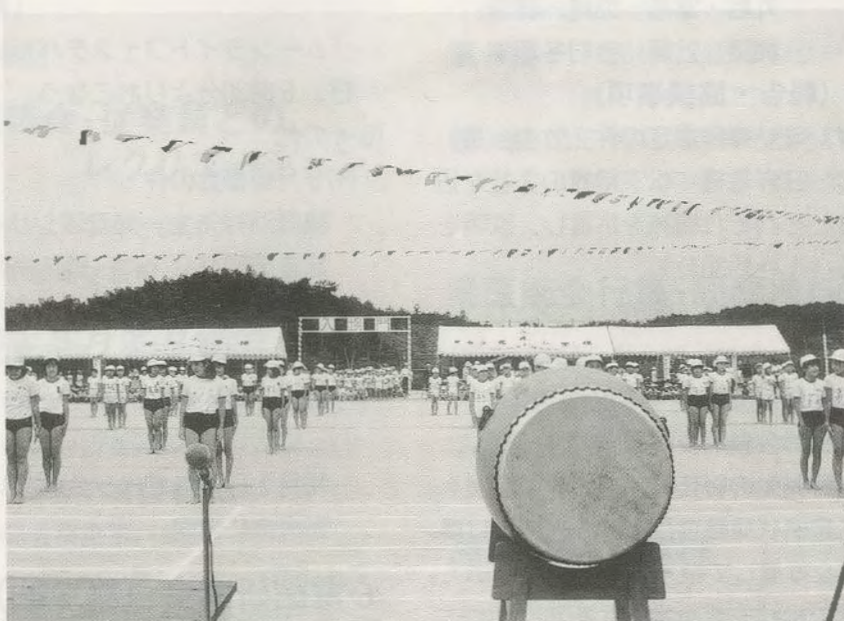


光市医師会報

昭和63年10月号

No. 192



天 高 <

光市医師会

医師会月間行事

昭和63年9月度理事会

9月13日(火) 午後7時～9時30分
光市医師会館

出席者 竹中会長・福本副会長
丸岩・富恵・赤崎・藤原
梅田・近藤・吉村各理事

議 題 (報告・協議事項)

- (1)ファクシミリ機種選定の件 (竹中会長)
NEC・三洋電機・松下電機の3社を招き、各社それぞれ機械を供覧し、説明を受ける (1社約30分)
- (2)郡市医師会長会議 (臨時) について
(竹中会長)
県医師会館建築の件
- (3)山口県医師会裁定委員選出の件
(大野先生の後任) (竹中会長)
10月に定例代議員委員会があり、光市より委員候補を推薦して欲しいとの依頼がある。理事会で松村先生を推薦する。

- (4)光市学校医研修会について
(福本副会長)

研修会の原案がまとまる。

光市学校医研修会・光市学校保健研修会
日時 64年2月23日(木) 1時30分～4時
場所 新日鉄労働福祉会館

演 題 (仮題)

「登校拒否・学校不適応・いじめ・暴力」

講 師

精神・神経学的立場より—藤山哲男先生
心身医学的立場より——山口 剛先生

対 象

学校医・歯医師会・薬剤師会・学校長・
養護教諭・保健主任・担任教師・PTA・
他郡市の校医・教育関係者。

- (5)従業員レクリエーションについて

(梅田理事)

「ムーンライトフェスティバル」を9月2日、6時30分よりおこなう。

- (6)その他

- (イ)9月研修会の件

講師河村先生—超音波シリーズ
超音波同好会の件—継続検討

- (ロ)市立病院転床の申し込みの件

Tbc病棟10床を一般病棟に転床したい旨申し入れがある—了承

- (ハ)三師会球技大会の件

10月2日—スポーツ公園でソフトボール大会に決定

心電図研究会 (第3回)

(下松・光市医師会合同)

9月16日(金) 午後7時30分～9時
光市立病院

演 題 「心電図の読み方」

講 師 徳山中央病院循環器内科
部長 河野隆仕先生

- (症例1) 心筋梗塞

主訴—胸部圧迫発作・胸部異和感
男・60才 河野先生症例

- (症例2) 狭心症

主訴—右胸部痛・嘔吐・ 男・80才
赤崎先生症例

光市医師会定款等検討委員会 (第5回)

9月20日(火) 午後7時30分～10時

光市医師会館

出席者； 広田委員長・中村(国)・中村(琢)

福本・田中・藤原・吉村各委員

竹中会長

議 題

細則の検討

光市医師会・従業員との レクリエーション

9月24日(土) 午後6時30分～9時

新日鉄労働福祉会館

昭和63年9月度月例会

9月27日(火) 午後8時45分～9時30分

光市保健センター

議 題 (報告・協議事項)

(1) 郡市医師会長会議 (臨時) の報告

(竹中会長)

県医師会館改築についての説明

県医師会館改築について会員の意見聴取

結果報告書について

医師会連盟会議の報告

(2) 光三師会球技大会について (福本副会長)

(日時) 10月2日(日) 午後1時より

(場所) 光市スポーツ公園

(内容) ①ソフトボール ②懇親会

(3) その他

(イ) 徳山保健所63年度診療所医療監視の件

(ロ) 医師日記の件

(ハ) 麻酔科標榜の件—10月8日迄に医務部

環境課へ

(ニ) 中国脳卒中研究会の件

(ホ) 計量器の定期検診の件

(ヘ) 前立腺癌検診の件

(ト) 市立病院の転床の件

(チ) 佃先生紹介 (A会員として入会)

研修会 (講演会)

9月27日(火) 午後7時～8時30分

光市保健センター

演 題 「腹部超音波診断シリーズ」

脾・腎疾患について

講 師 山口労災病院消化器内科

部長 河村 奨先生

稲本 善人先生

県医師会行事・同関連行事出席

(1) 郡市医師会長会議 (臨時)

竹中会長出席—9月22日、県医師会館

(2) 結核審査会

福本副会長出席—9月22日、徳山保健所

研修会バス運行

第71回山口県医学会総会 } へ出席のため
第42回山口県医師会総会 }

9月18日(日) 防府グランドホテル

乗車…光市医師会—13名

下松医師会—7名

会員学会活動

9月25日周南医学会で発表

演題 「異物誤注入により起こった指の壊死
切断例」 富恵哲先生

演題 「小児後腹膜奇形腫の一例」 金福柱
鳥枝道雄・濃川正信・五嶋武・赤崎正信

香津美智子・横山宏・板垣省三各先生

自己讃美

高橋健次

二ヶ月程前から外来に息切れのはげしい、六十五才の男性が来ている。慢性呼吸不全で十メートル歩くのがやっとである。玄関から玄関へ軽自動車を横づけにして、肩で息をしながらソロソロと入って来る。 $\%V_C$ 64%で、肺性P波も目立っている。所謂自宅酸素療法の適応となる患者である。ところが二日前から風邪をひいてしまい、一層呼吸困難が強く、喘鳴が加っているようだ。診察室にたどりついた時には、もうろう状態で倒れこんでしまった。直ちにIPPBにてステロイド等の吸入を開始し、チアノーゼは消失した。三時間後 O_2 4ℓ吸入時でも動脈血 O_2 88%、 CO_2 56%PH7.30で呼吸性アチドーシスだ、とにかく病室に担ぎ上げた。そこで家族へ電話させた。直ちにかかけると思ったのに、意外な応答にびっくりした看護婦が報告に来た。奥さんが言うには「腰が悪く動けないので行けない。主人はふた晩も床に眠れないので背中をさすってやっていた」。とのことであった。問題なのは「入院費用はいくらかかるのか？息子の許しがあって入院させたのかどうか、さもないと費用が出ない」とのことで驚いてしまった訳である。間もなく仕事場から息子がかけつけて来た。父親のこんな状態には慣れているのであろうか、し尿瓶をトイレに運んでやっていた。三日間はカテーテルにつながれ坐位で眠ったが四日目から苦悶様の表情も消えて横になれたと喜んでた。ところが急に帰るといって出た。止めてみたが云うことを聞かず帰

ってしまった。本当に貧しいからか、他に何か理由があるのか、何とも云えないやりきれなさが残った。どんな生活をしているのだろうかと気にかかったが市外の人なので知るべくもなく、変な余韻を残して行った。こんな気分のところへ長男から電話がかかって来た。毎度のことで支送りの増額の請求であった。我家の大蔵省もなかなかしぶとくあれこれと理由を聞き出していたが最後にはお父さんに相談してからねとねばっていた。貧乏な生活も知っている子なのに少々甘くなったねと女房はこぼしていた。間もなく娘からの電話がかかって来た、お父さんにとの御指命である、旅行に行くからと緊急の要求であった。説明だけすると最後に「お父さんはリッチなものね、よろしく」。と言ってガチャンと切った。今日はコレクトコールでないので電話代の節約らしい。「リッチなものね」が気になった。意外な響きを持つ言葉であり、一寸考えさせられた。今私は甚平を着て居間でモミモミに横たわり缶ビールを飲みながらナイターを見ている。大画面テレビだぞ、リッチだぞといいきかせてみた。

日本は世界一裕福だそうだ。高い物程よく売れるそうだ。ブランド品を持ち、高価な貴金属を身につけ、高級車に乗ることがリッチなのか、持たないよりはる方がよい、だがそれでリッチな気分になれるものだろうか。最近のリッチ分類法に従ってみると、第一は「たらリッチ」で自分の所有する土地資産を評価してひそかに楽しむ恵まれた人だそうだ。第二は「あきらめリッチ」で土地建物等の物欲はなく安定した社会をたのみに今を楽しむタイプだそうだ。

第三は「モアモアリッチ」だそうだ、リッチな気分が心地よくももっともいいものを手に入れ、多くの経験をした、と願って努力するタイプだそうだ。第四は「ガリガリリッチ」だそうだ、自分の利益しか考えずどんな手段でも恥じずに株で大もうけをするリクルート事件の偉い人達だそうだ、どう考えても私はリッチ分類法のどれにも該当しない。少くともリッチになれるとは思えない。そんなことを考えながら本屋をのぞいた。有名な心理学者の浅野八郎著のリッチマンテストという本が目にとまった。買って帰り面白半分テストを試みた。損をしない金運度、財テク時代のギャンブル度、ヤリクリ度、金銭感覚度とテストをやってみた。金運度、安定度もどれもよい答えは出ない。少々反発を覚えた。少くとも安定した生活を心掛け、老後にも備えるよう努力したのだがと少くとも十年は働かなければと不安がつきまとう。しかし考えてみれば家も土地もある。友達もいる。老後もなんとかなりそうだと思えて来た。これでいいんだといいきかせている。「あれがよい、これが欲しい」と嘆く時、ないという意識は淋しさを産んでくる。そして自分を沈下させてしまうことに通ずる。ないということが劣等感となるならば他に優越した輝しい人間になる必要が出てくる、そのためには悪戦苦闘しなければならない。それならば今の自分で充分だ、自己讃美の方がよいと思えた。

おれは若々しい。大画面テレビをみ、オーディオを楽しみ、アサヒドライを飲んでいる住むところもあるし、着るものもあるし、友人もいる、不都合なことはなにもな

い。これでいいんだと思えて来た。

周南三市医師会・歯科医師会・健保組合 第9回親睦ゴルフ大会

9月11日(日) 於周南カントリークラブ
参加者

徳山医師会6名、徳山歯科医師会5名
下松医師会11名、下松歯科医師会6名
光市医師会7名、光 歯科医師会4名
健康保険組合11名

大会成績——入賞者のみ、

悪天候のためハーフで中止

順位	氏名	OUT	IN	GROS	HDPC	NET
優勝	塚本 晃	42	—	42	5.0	37.0
2	井草 剛仁	52	—	52	14.0	38.0
3	道上 文和	—	56	56	18.0	38.0
4	平田万三志	—	47	47	9.0	38.0
5	武居 敏輔	—	48	48	9.0	39.0
7	有田 和彦	50	—	50	10.5	39.5
9	日坂 照幸	44	—	44	4.0	40.0
10	西辻 知生	—	45	45	4.0	41.0
11	明石 和彦	52	—	52	11.0	41.0
15	横山 宏	—	48	48	5.5	42.5
20	篠山 歳行	51	—	51	7.5	43.5
25	阿部 建	—	54	54	10.0	44.0
30	藤村 朴	51	—	51	5.0	46.0
35	林 秀雄	—	56	56	9.0	47.0
40	小林 英夫	—	60	60	9.0	51.0
45	花田 康一	—	68	68	10.0	58.0
BB	芦田 一郎	79	—	79	18.0	61.0



光市医師会・従業員レクリエーション



前田医院職員

白露も過ぎた9月24日、中秋の名月前夜祭とでも言うべき佳き時候にムーンライトフェスティバルが催されました。当日は相憎くの雨ではありましたが、各病院より多数の皆様が出席されて賑やかな集いとなりました。恒例になっている一年に一度の医師会の親睦会行事は、日頃忙しく働く私達にとって、各先生方の御元気な姿に接することが出来ますし、他の病院の方達と親しく話を交わすことの出来る絶好の機会でもあります。

今年は生バンド演奏で、ダンスを楽しむという趣向という事で、実のところ、少々平均年令の高い私達は、どうなることかと案じておりました。なにしろ踊るといふ経験ありませんので。

医師会長の御挨拶、田尻先生の力強い乾杯も恙なく終り、愈々始まりです。ディスクジョッキーでお馴染みの治美姫の軽妙な司会進行で、音楽が鳴り響き、ミラーボールが回り始めると、すっかり会場はディスコに早変わり。

でも腹ごしらえが先決です。先生方もグラス片手にあちこちのテーブルを回って談笑。興が乗るにつれ、手に手を取ってフロアの踊りに加わりました。気分はすっかり20代、踊りはやはり40代？。自然に盆踊り風になるのは致し方もありません。体を動かすのは楽しいものですから、たゞたゞ音楽に合わせて手足を動かしました。ゲストの達者な物真似には笑い転げました。

ただ願わくば、一日仕事を終えてかけつけた私達ですので、隅の方にでも、イス席を用意して欲しかったというのが、偽らざる感想です。

来年も又、楽しく集えるよう仕事に励みましょう。



富恵外科職員

9月24日土曜日。仕事を終え、光市医師会ムーンライトフェスティバルへと急ぎ、出席した私は、最高に楽しいひと時を過ごさせていただきました。

吉田治美嬢の総司会に始まり、バンド演奏を聞きながらの食事。みんなおいしくい

いただきました。

そして照明もおちてディスコタイムへ。はじめは、消極的でしたが、1人2人とみんなにつれられて私もいつのまにか、先生方やみんなとフィーバーしていました。

ディスコタイムも終わり、北口幹二彦氏のパフォーマンスも、とても楽しくすてきでした。よく何人もの、ものまねが、できるなあと思いました。

そしてYYT トリオプラスONE及びレイズブルースバンドの演奏も、最高でした。

新日鉄労働福祉会館での、2時間30分。日頃のストレス解消?にもなり、とても楽しく過ごさせていただきありがとうございました。そしておつかれ様でした。



梅田病院職員

メイクヨシ!!ヘアーヨシ!!ドレスヨシ!!
さあ、女の戦いの始まりだ。ウーンなかなかいい女のできあがり、心の中で皆に負けてなるものかとだれもが思いつつパッチリと決めてシンデレラタイムの始まり。

久しぶりのハイヤー、降りた所はリバーサイドのピンクのキャッスル、その名も新日鉄労働福祉会館。(ちょっとかたいかな)

受付でネームカードをもらって、さあ、お祭りだその名もムーンライトフェスティ

バル。

そして、受付カウンターの横に目をやると「ストレスマツト ゴメンネ」なんともユニークなマットレスが鎮座している。そのコメントいわく

「職員のみなさん、日頃のうっぷんをこの一発でスッキリ水に流して会場にお入り下さい。」 医師一同とある。

先生もなかなかやるなと思いつつ、この時ばかりと先生が横を向いてるスキに、おもしろい Эй!!おまけにもう一発 Эй!!

(皆がそうしたかどうかは、わかりませんが、ネ先生)

いよいよ扉の向こうは……

ロッキーのテーマにのって、今宵のヒーロー竹中先生の始まりのお言葉。

KRY、吉田治美嬢の軽快なトーチ、光市のヤングのレイズ・ブルース バンドのブルースもGood!!

東京からのお客様、幻のエンタティナー北口幹二彦氏の声帯模写に、飲む事も食べることも忘れてお腹をかかえ、つい大口で大爆笑である。YYTトリオ プラスワン
の演奏も絶品、まさしく美酒、美食、楽しい語らい、音と光の祭典、汗をほとばしりながらだれもがディスコタイムの主役である。

BGM担当のKRY 渡辺三千彦氏の選曲もさすが、光市役所の岡崎氏 1階、2階へと走りまわっての大活躍のおかげで、光のファンタジーを十分に味わせていただいた。

スタッフの皆さんゴクロウ様でした。そして楽しい夜のひとときありがとうございました。そろそろシンデレラもおわりかな。

新入会員紹介

佃 邦夫先生

佃 医院

(略 歴)

54年3月 自治医科大学卒業
 54年6月～56年5月 山口県立中央病院
 56年6月～59年5月 豊田中央病院
 59年6月～60年5月 山口県立中央病院
 60年6月～63年5月 光市立病院
 63年6月～63年8月 山口県立中央病院

「はじめまして」というには余にも面白いと思われる方が多いでしょう。けれども今の立場で考えてみますと、全く新しい世界に入ってきたというのが今の心境です。9月5日より大野先生の後に開業する事となり、わけの分からない書類に埋もれながら、訪れる患者を待つ毎日は、今までに全く経験のないことであります。昭和60年6月より63年5月まで牛島診療所で勤務したのでありますが、その間光市医師会の皆様と触れ合う機会に恵まれたことは、全く運命のいたずらでした。「いつかは開業を」が小生の目標であったのですが、実にはたったの3カ月で自分の一生を決めてしまったことは、周りの人以上に、自分がいちばん驚いております。とにかく全くのひよっこですので、何かと皆様にご迷惑をかけるかと思いますが、宜しく願い申し上げます。

小生は山陰の田舎生まれで、これといって自慢できる資質はありません。ゴルフを医者になって約4年間熱中したことがありますが、熱し易く覚め安い、飽き易惚れ易

が自分の性分なのでしょう。ここ3・4年数えるほどしかゴルフのクラブを握っておりません。大学では各県から入学しており、全寮制でしたのでいろいろな人間と接することが出来たのですが、小生は『馬車馬』という異名をもらっておりました。暇があれば大学のグラウンドをランニングしているのを見てそう言われたのでしょうか、首から下のパワーは自分でも自信がありましたので、納得のいくあだ名でもありました。センスがない、スマートでないという意味でもありましたが、それは自他ともに認めることでした。自治医大二期生の中で最初に開業できたのも、馬車馬のようにまっしぐらに進む性格のせいであろうと思います。これからも宜しく願い申し上げます。

＝ 編集後記 ＝

秋も大分深くなり、しのぎよい季節になってまいりました。

佃先生を新入会員として紹介するのは少し気がひけるのですが、やはり新規であるようですので、御登場願いました。なお顔写真は145号に掲載されましたので割愛させていただきます。

ムーンライトフェスティバルの御投稿をいただきました前田医院・富恵外科・梅田病院の皆様有難うございました。(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社